

# 「十三」

令和2年度 第5号

## 今だからこそできること

教務主任 早瀬 勝

新しい生活様式の中で迎えた学校祭をどのように行うか、様々な課題がある中で、今だからこそできることは何かを考え、今年度の準備を進めました。

生徒会でテーマを「響け！心と心のharmony 輝け！最高の絆で溢れる笑顔」と決定し、十三中学校の絆を深める学校祭にしようと合唱やボディーパーカッションに取り組みました。合唱は、朝練習も取り入れ、日を追うごとに充実した声が聴かれるようになりました。本番では、どの学年も、成長の跡が見られる歌声を響かせました。



【全校合唱】



【ボディーパーカッション】

十三中学校の伝統となったボディーパーカッションでは、これまで積み上げたものを土台としつつ、今年は学年ごとのオリジナルの動きを入れるという試みをしました。本番では息の合った演技を見せ、生徒の表情からもやり切ったという達成感が伝わってきました。

各学年の「総合的な学習の時間」の発表では、自分たちのふるさとをテーマに、1年生は十三校区の歴史や自然などをテーマにした「十三検定」を紹介し、2年生は「14歳の挑戦」に替わって行った事業所訪問で学んだこと、3年生はよりよい氷見市となるために調べ、考えた提言について発表し、それぞれに社会の一員としての自覚を高めた姿を披露しました。

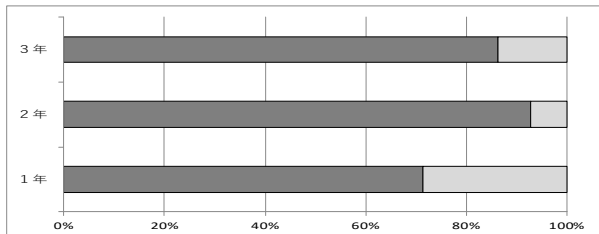
今年は、育友会のバザー等が中止となるなど規模を縮小し、楽しみにしていた保護者、地域の皆さまにはご不便をおかけしましたが、多くの励ましや学校祭を開催できたことへの喜びの言葉をいただきました。ありがとうございました。

## ◆◆◆ 学校祭を振り返って ◆◆◆

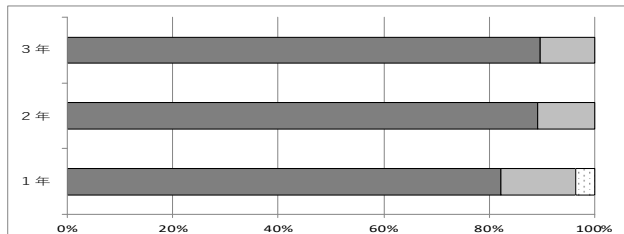
学校祭後の生徒アンケートでは、どの学年の生徒も係の活動やステージ発表の練習に主体的に取り組み、自分の力を出し切ったと回答しています。生徒一人一人が自分の役割を考え、仲間と共によりよい学校祭を作り上げた達成感を感じたことがわかります。

■: 4よくできた □: 3だいたいできた □: 2あまりできなかった ■: 1まったくできなかった

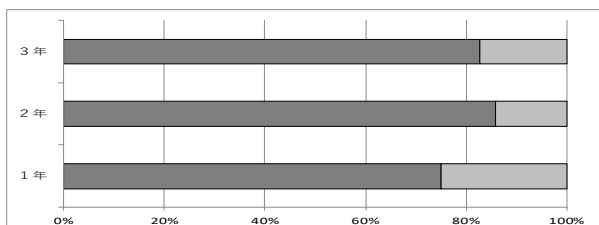
○みんなで協力して、うれしいと感じることができたか。



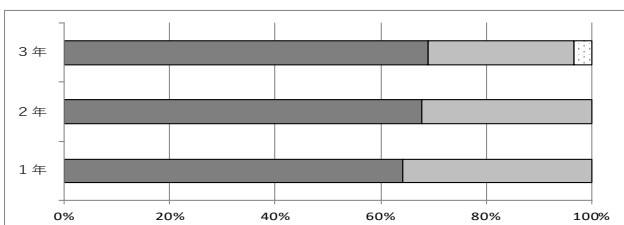
○ステージ発表の練習に主体的に参加し、自分で考えて取り組むことができたか。



○当日のステージ発表では、全力を出し切ることができたか。



○係の活動に主体的に参加し、人の役に立つことができたか。



## 【生徒の感想】

合唱では、大きな声で歌うことができ、ボディーパーカッションでも笑顔で演技することができました。

(1年生)

3年生の『手紙』の合唱は男声も女声も体育館に響き感動しました。来年も自分たちがこのような合唱をしていきたいと思いました。

(2年生)

オンステージではみんなで楽しく盛り上げることができました。そして、最後のオンステージでみんなでよい思い出をつくることができました。

(3年生)

1学年の作品展示室の打ち合わせや準備を何日もかけてやって、よい展示室にできたと思います。

(1年生)

閉祭式でスライドショーを見て前期を振り返ると、思い出に残る行事がたくさんありました。来年もがんばろうという新たな心構えをもちました。

(2年生)

合唱・ボディーパーカッションでは、広瀬先生・瀬尾先生に教えていただいたことや毎日の朝練の成果を発揮することができました

(3年生)

## 【保護者の声】

子どもたちが一生懸命に作品を作り、展示し、歌やボディーパーカッションの練習をがんばってこの学校祭が無事終えられたことがよかったですと思います。(1年生保護者)

コロナ禍で例年より縮小となり、子どもたちは複雑な思いがあったかもしれませんが、発表はどれも素晴らしかったです。(2年生保護者)

湖南小・十三中と子どもたちの歌を聴くのが楽しみでした。ひいき目なしで、本当に心にしみる歌声でした。(3年生保護者)

## ◆◆◆ 学校祭の様子 ◆◆◆



【1年生合唱】



【2年生合唱】



【3年生合唱】



【1年生発表】



【2年生発表】



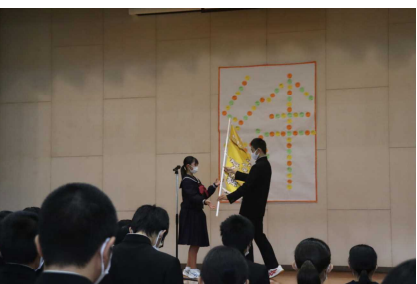
【3年生発表】



【作品展示室】



【オンステージ】



【生徒会引き継ぎ式】

※ 本校ホームページにも写真が掲載されています。